



2021年1月14日

各 位

会社名 松竹株式会社
 代表者 代表取締役社長 迫本 淳一
 (コード番号 9601 東証第一部、札証、福証)
 問合せ 取締役 尾崎啓成
 (TEL 03-5550-1699)

2021年2月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2020年10月15日に公表した通期業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 通期業績予想の修正について

(1) 2021年2月期通期連結業績予想の修正(2020年3月1日～2021年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	48,400	△10,860	△11,310	△17,530	△1,276.24
今回修正予想(B)	51,750	△8,630	△8,890	△14,290	△1,040.35
増減額(B-A)	3,350	2,230	2,420	3,240	
増減率(%)	6.9	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2020年2月期)	97,479	4,604	4,462	2,420	176.18

(2) 2021年2月期通期個別業績予想の修正(2020年3月1日～2021年2月28日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	29,000	△5,260	△9,700	△702.24
今回修正予想(B)	31,000	△3,360	△7,340	△531.38
増減額(B-A)	2,000	1,900	2,360	
増減率(%)	6.9	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2020年2月期)	56,608	2,265	1,349	97.67

2. 修正の理由

映像関連事業において当社配給作品の「事故物件 怖い間取り」及び「劇場版 ヴァイオレット・エヴァーガーデン」が興行収入20億円を超える大ヒットとなり、映画興行も当第3四半期連結会計期間において「劇場版『鬼滅の刃』無限列車編」の記録的なヒットにより当初の想定以上の成績を上げました。

演劇事業におきましても、新型コロナウイルス感染予防対策を徹底し、歌舞伎座をはじめ無事に興行が行われた結果改善を見ました。

また、映像関連事業と演劇事業が共同した舞台映画プロジェクト「滝沢歌舞伎 ZERO 2020 The Movie」も大ヒット上映中で高稼働しております。

以上により通期連結業績予想では売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益が前回発表の予想を上回る見込みとなり、また同様の理由により通期個別業績予想においても売上高、経常利益、当期純利益が前回発表の予想を上回る見込みとなりましたので修正いたします。

なお、2021年1月7日に新型コロナウイルスに関する2回目の緊急事態宣言が政府により発出され、当社グループ施設におきましても、営業時間の短縮や引き続き客席使用率を制限する等の対応を行っております。現時点ではその影響は限定的と捉えておりますが合理的に見積もることが困難であるため、上記の業績予想には織り込んでおりません。

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上